

オオキノコムシ

澄川の森の基地で昼食のテーブルにつこうとしていました。傍らのヤナギにはりついたサルノシカケにオオキノコムシがとりついてるのが見えました。きのこの傘の下側を齧っている様子がよくわかる画像をゲットできました。画像の記録は2015年8月16日12時9分でした。実は作業支度をしている際にもこの樹に発生している他のきのこにもいましたので2匹を手の平に載せて撮影しました。触ると一旦は死んだふりをしますが、すぐに動き出すところが可愛いのであります。

オオキノコムシは主にサルノシカケを食べます。愛用の図鑑「札幌の昆虫」にはオオキノコムシ科に属するキノコムシは他に3種しか記載されていません。それぞれ好みのキノコが違うようですからこれからキノコをみつけたら注意して観察したいと思います。

オオキノコムシはご覧のとおり美しい甲虫です。形も良いし、上等な漆を塗ったような光沢です。さらに模様配置とバランスが絶妙です。胸部背面はオレンジ地に黒の水玉模様。腹部背面は黒地にオレンジのアクセントを四隅に配して上品な装いです。大きさは16~36mm、出現は6~8月。分布は日本全土のようです。幼虫もキノコで育つとのことなので、サルノシカケに負んぶに抱っこなのです。キノコの生えた立ち枯れ木は不意に倒れたりして危険なので意識的に伐倒してきましたが、こんな美しい虫たちのためならば、危険な場所ではないと判断できれば残すことにしたいと思う次第であります。



お盆も明け切らぬ16日の日曜日の所為か参加者が6人と少ないので、この秋の植樹予定区域A-1区のギャップ地の植栽場所の笹刈りを全員でやりました。昼近くなって驟雨に見舞われ、完成したばかりの避難小屋の初利用となりました。ここ3日ばかりは北海道全域の気候が不安定で落雷を伴った豪雨があったりしていますので、一旦は雨をやりすごして、基地に戻り、昼飯を済ませたあと早々に解散となりました。